

# 関西VB 異業種交流

小西追手門 起業や成長を支援  
学院大教授ら



50人が参加した設立総会

## 月例で研究会

追手門学院大学経営学部の小西一彦教授や関西に基盤を置くベンチャー企業（VB）経営者ら約10人が中心となり、異業種交流団体「大阪ベンチャー研究会」を創設した。VBや起業家の育成が狙い。月1回の定例研究会を開き、起業率の向上やVBの成長などにつながる実践的な理論と方法を考案。起業や第一創業などを産学官連携で後押しする。

毎月第4金曜日に開く定例研究会を中心に活動する。独立起業だけでなく、社内ベンチャーや第二創業、民間非営利団体（NPO）のVBなどに対象を広げ、起業や育成についての議論を深める。フォーラムの開催や会員同士の実践的な共同

研究、活動成果の出版なども計画する。

定例研究会では、会員のネットワークづくりやプレゼンテーション能力の向上などを目的に、毎週テーマを変えてグループ討論やプレゼンテーションなどを行う。関西ベンチャー学会（大阪市中心区）や神戸ベンチャー研究会（神戸市西区）など他団体との連携も積極化する方針だ。

このほど設立総会と第1回研究会を開き、大学教授やベンチャー経営者、公認会計士、起業を目指す学生ら約50人が参加。総会で8人の世話人を選出した。中旬の世話人会で代表者を定める。次回の定例研究会は25日

に大阪市内で開く。

小西教授はベンチャー論、流通・マーケティング論が専門。前職の兵庫県立大学教授時代には、神戸ベンチャー研究会を立ち上げた経験がある。